

審査票

記入例

申請者氏名		受験番号		奨学金 * 1.貸与中 2.申請予定 3.無し	1.日本学生支援機構 <b>* 第一種</b> (第二種・併用) (月額 88千円)				奨学金年額		
富山 健太		123456			2.自治体奨学金(名称: ) (月額 千円)				1,056 千円		
3.その他(名称: ) (月額 千円)		氏名	年齢	職業	現職の就職年月	給与等	年金等	給与等以外の収入	臨時収入	給与等計(控除額)	所得金額
本人	富山 健太	22	学生	—	—	—	—	—	—	—	—
就学者を除く家族	父	富山 太郎	55	会社員	昭・平 60年4月～	千円	千円	千円	千円	( 千円)	千円
	母	富山 花子	50	パート	昭・平 15年5月～	千円				( 千円)	千円
	祖母	富山 すず	75	無職	昭・平 年 月～	千円				( 千円)	千円
	兄	富山 健人	26	会社員	昭・平 26年4月～	千円	千円	千円	千円	( 千円)	千円
					昭・平 年 月～	千円	千円	千円	千円	( 千円)	千円
				昭・平 年 月～	千円	千円	千円	千円	( 千円)	千円	
児童手当	受給の有無		続柄	氏名	無職になった年月	失業給付		所得金額合計(a)			
	有・無			年 月～	* 有・無		千円				
	受給額(年額)			退職金		その他収入合計(b)					
	千円			* 無・有 ( 千円) ( 年 月 日支払 )		千円					
就学者	続柄	氏名	年齢	在学学校			通学区分	特別控除額			
	妹	富山 ありす	20	* 1.小学校 2.中学校 3.高校 <b>大学</b> 5.高専	学校名	2年	* 1.自宅 <b>2.自宅外</b>	千円			
	弟	富山 健	17	* 1.小学校 2.中学校 <b>高校</b> 4.大学 5.高専	学校名	2年	* 1.自宅 <b>2.自宅外</b>	千円			
				* 1.小学校 2.中学校 3.高校 4.大学 5.高専	学校名	年	* 1.自宅 2.自宅外	千円			
			* 1.小学校 2.中学校 3.高校 4.大学 5.高専	学校名	年	* 1.自宅 2.自宅外	千円				
区分	内容					審査欄	特別控除額				
(* 母子・父子)世帯	* 1.母 2.父	* 死別・生別 ( 年 月)	児童扶養手当		* 無・有(年額 千円)	該当 非該当	千円				
			遺族年金		* 無・有(年額 千円)						
障害者(* 有・無)	続柄(祖母)	* 身体・知的・精神	障害年金	* 無・有(年額 600千円)	該当 非該当	千円					
	続柄( )	* 身体・知的・精神	障害年金	* 無・有(年額 千円)							
長期療養者(* 有・無)	続柄( )	療養期間		医療費(年額)	該当 非該当	千円					
			年 月 日から現在まで( カ月間)	千円							
風水害等の災害を受けた世帯	被災年月日	被災内容		被害額	該当 非該当	千円					
	年 月 日			千円							
						本人控除	千円				
						父母以外所得控除	千円				
総所得金額(A) a+b		千円				特別控除額合計(B)		千円			
認定所得金額		千円				世帯人数 人	収入基準額	全額	千円		
						半額	千円				
学力	1 成績 ( )		免除の可否		1. 該当 (全額免除・半額免除)						
	2 順位 ( / )										2. 非該当 (学力・家計・両方)

○記入方法 (注意事項)

※色付き太枠内の空欄及び、( )について、該当する箇所を全て記入してください。  
 ※\*印の欄は、該当するものを○で囲んでください。

1 【就学者を除く家族】について

- ①同一生計の家族(就学者を除く)を漏れなく記入してください。生計は一であるが別居(単身赴任、施設入所等)している家族も記入してください(別居の有無欄に△印を記入してください)。
- ②「職業」欄は、必ず記入してください。(例:会社員、自営業、教員、公務員、パート、アルバイト、主婦、無職 等)
- ③収入(給与等、年金、臨時収入)がある場合は、その職種に応じた各証明書(別紙参照)を添付してください(金額欄への記入の必要はありません)。
- ④前年中(平成30年1月1日～現在)に失職等した場合は、必要事項を記入してください。(失職した年月、退職金の有無など)また、各証明書(別紙参照)を添付してください。

2 【特別控除】について

- ①各区分について、該当の有無を記入してください。
- ②該当する場合、右欄「内容」について記入してください。
  - (ア) 母子・父子世帯: 母子・父子世帯の控除は、以下の世帯構成の場合に適用します。また、手当や年金等の有無も記入してください。
    - Ⓐ 母又は父と18歳未満の子の世帯
    - Ⓑ 母又は父と18歳未満の子及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯
    - Ⓒ 18歳未満の子の世帯
    - Ⓓ 祖父母と18歳未満の子の世帯
    - Ⓔ 配偶者のいない兄弟と18歳未満の子の世帯
    - Ⓕ 配偶者のいない兄弟と18歳未満の子及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯
 ※18歳以上の就学者(本人を含む)及び長期に療養を要する経済力のない人は、18歳未満の子として扱ってください。
  - (イ) 障害者: 身体障害者の場合、等級が1級又は2級の者  
知的障害者の場合、障害の程度が重度(A)の者  
精神障害者の場合、等級が1級の者
  - (ウ) 長期療養者: 「申込時現在において6か月以上にわたる期間、療養中の人または療養を必要と認められる人」に適用します。療養を終えた人は対象となりません。診療・治療費、入院費用、医薬品費、介護保険法により要介護認定・要支援認定を受けた人がサービスを利用した場合の自己負担額を計算して記入してください。
  - (エ) 風水害等の災害の被害額: 最低限度の医療、家具の購入費、修理費等を記入してください。※内容が分かる領収書等を添付してください。※被害額や復旧費をそのまま控除するものではありません。

※ 別紙「入学料等免除等申請書に添付する証明書等」をよく読み、添付書類に不足等がないよう十分注意してください。

※色付き太枠内の空欄及び、( )について、該当する箇所を全て記入してください。  
 ※\*印の欄は、該当するものを○で囲んでください。

太枠の外は記入の必要なし